

実践！話題のETFを使いこなすコツ

2022年7月28日（木）

楽天証券株式会社

楽天証券経済研究所 兼 アセットビジネス事業部

ファンドアナリスト

篠田 尚子

ETFの魅力とは

少額で**高い分散効果**を期待できる

ETFの基礎をおさらい

国内ETFと海外ETFの違い

米国ETF

ETFの国籍	国内籍ETF	外国籍(海外)ETF
上場先	国内上場	海外上場
基づく法律	日本	外国
取引通貨	円建て	外貨建て
取引単位	単元株数	1株(原則)

国内ETF = インデックス連動

- 日本の取引所に上場するETFは、基本的にインデックス連動型のみ。
- 米国では、一般的な投資信託のように、超過収益を追求するアクティブETFも認められている。



積極的にリターンを追求したいなら**海外(米国)ETF**または**投資信託**

■ 内国ETFの上場審査基準

投資信託 約款の記 載内容	新規上場申請銘柄の投資信託約款に次の（a）から（h）までの内容が記載されていること。 （a）投資信託財産等の一口あたりの純資産額の変動率を特定の指標の変動率に一致させるよう運用する旨
---------------------	--

「東証・内国ETFの上場の手引き」
（第22版）より抜粋

ETFと投資信託の違い

	ETF	一般的な投資信託
上場・非上場	上場	非上場
取引時間	取引所の取引時間内	1日1回
取引価格	市場価格 (成行・指値注文ともに可)	基準価額
取引手数料 ※楽天証券の場合	株式取引の手数料体系に準ずる	購入時：無料 解約時：信託財産留保額
信託報酬 (保有期間中のコスト)	販売会社報酬を含まず	販売会社報酬を含む

市場価格（取引所価格）と基準価額

市場価格 = Market Price

- 市場における需要と供給で決定し、リアルタイムで変動する
- 実際に投資家が市場で売買を行う際の価格

基準価額 = Net Asset Value

- 運用会社が市場の終値に基づいて算出し、1日に1回公表される
- 運用会社と指定参加者がETFを設定・交換する際の価格

$$\text{基準価額 (一口あたりの価値)} = \frac{\text{純資産総額}}{\text{総口数}}$$

頻繁に売買される
ETFほど
かい離が小さい

ETFの信託報酬には販売会社報酬が含まれない

信託報酬

投資信託の場合、全体の...

40~45%程度

同40~45%程度

同5%程度

を各社が受け取る

販売会社

運用会社

受託会社

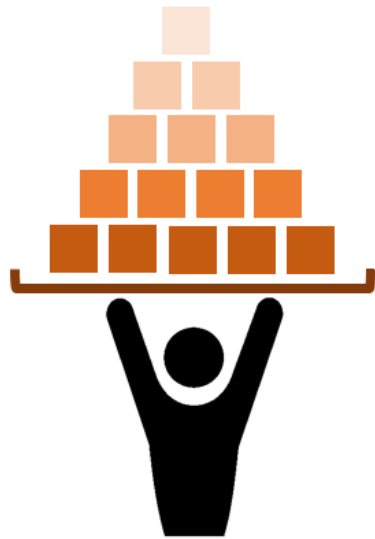
ETFではこの分が含まれない

リスクとの付き合い方

「リスクの取り方」という視点で考える

市場インデックス連動

※一般的なETF



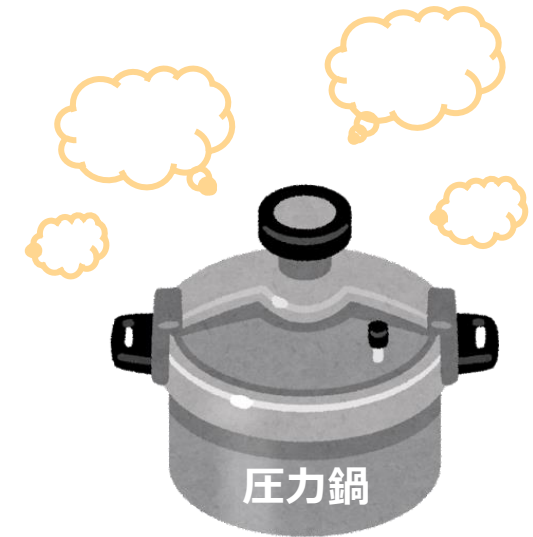
市場全体のリスクをまんべんなく負う

テーマ・業種別



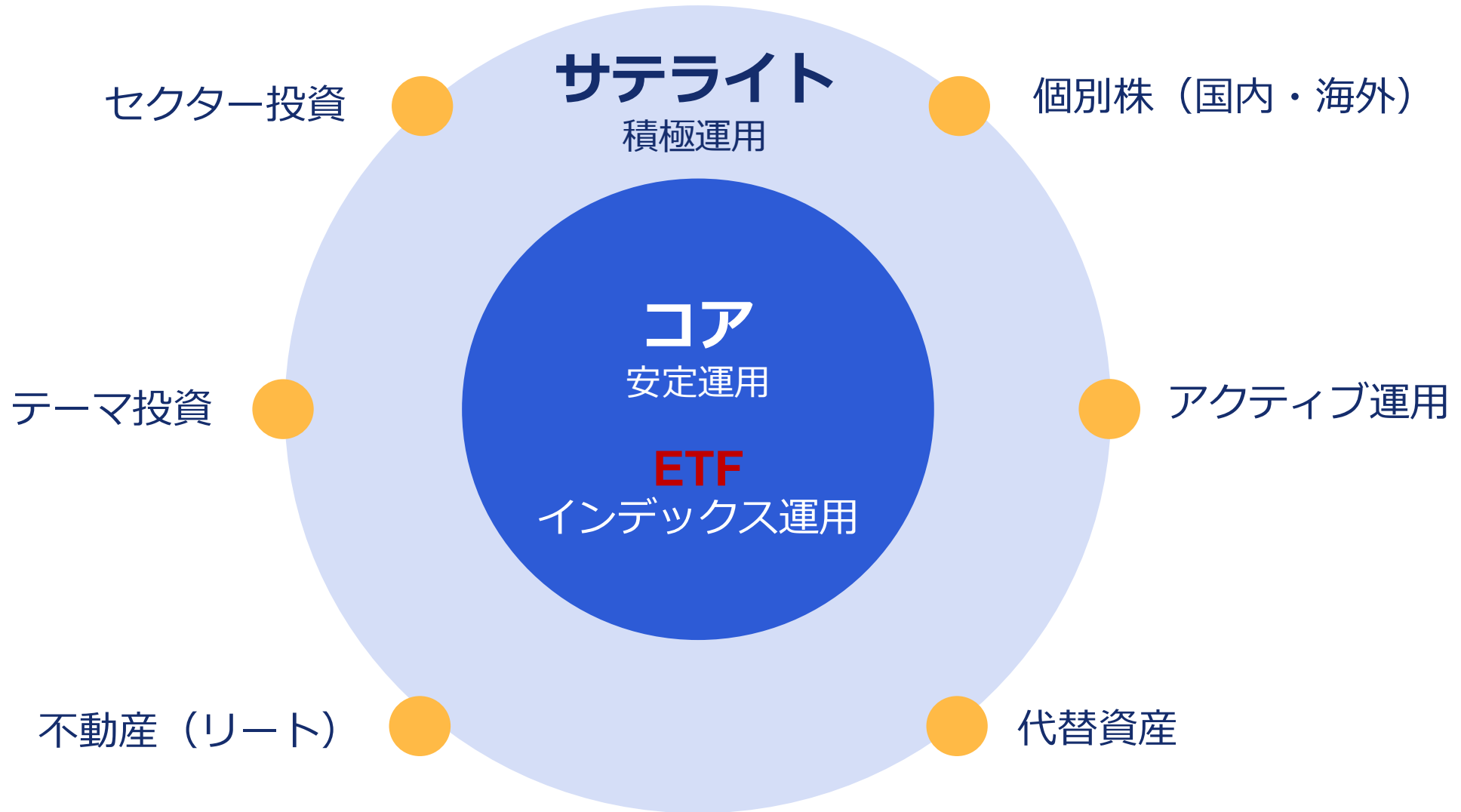
特定の市場や業種のリスクを集中的に負う

レバレッジ (ブル・ベア)



短い期間と少額の資金で高い投資効果を期待できる反面、2~3倍の市場リスクを負う

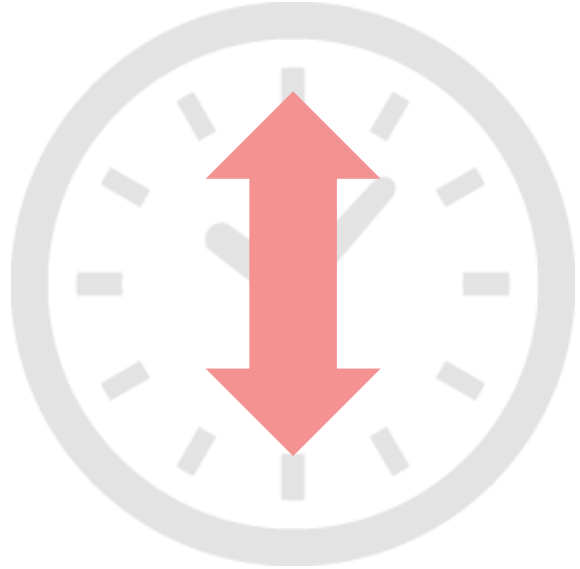
ポートフォリオ作りの基本：コア・サテライト運用



2種類の「分散」を正しく理解する

時間分散

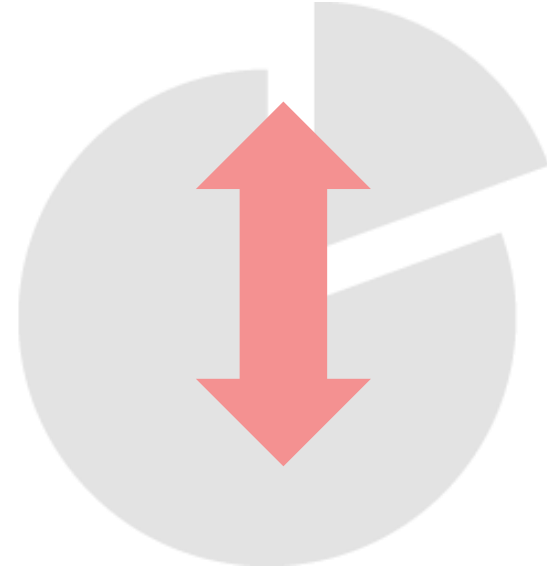
投資するタイミングを**複数回**に分散させること



ただ投資信託を長期間寝かせておいても、時間分散の効果は十分に得られない

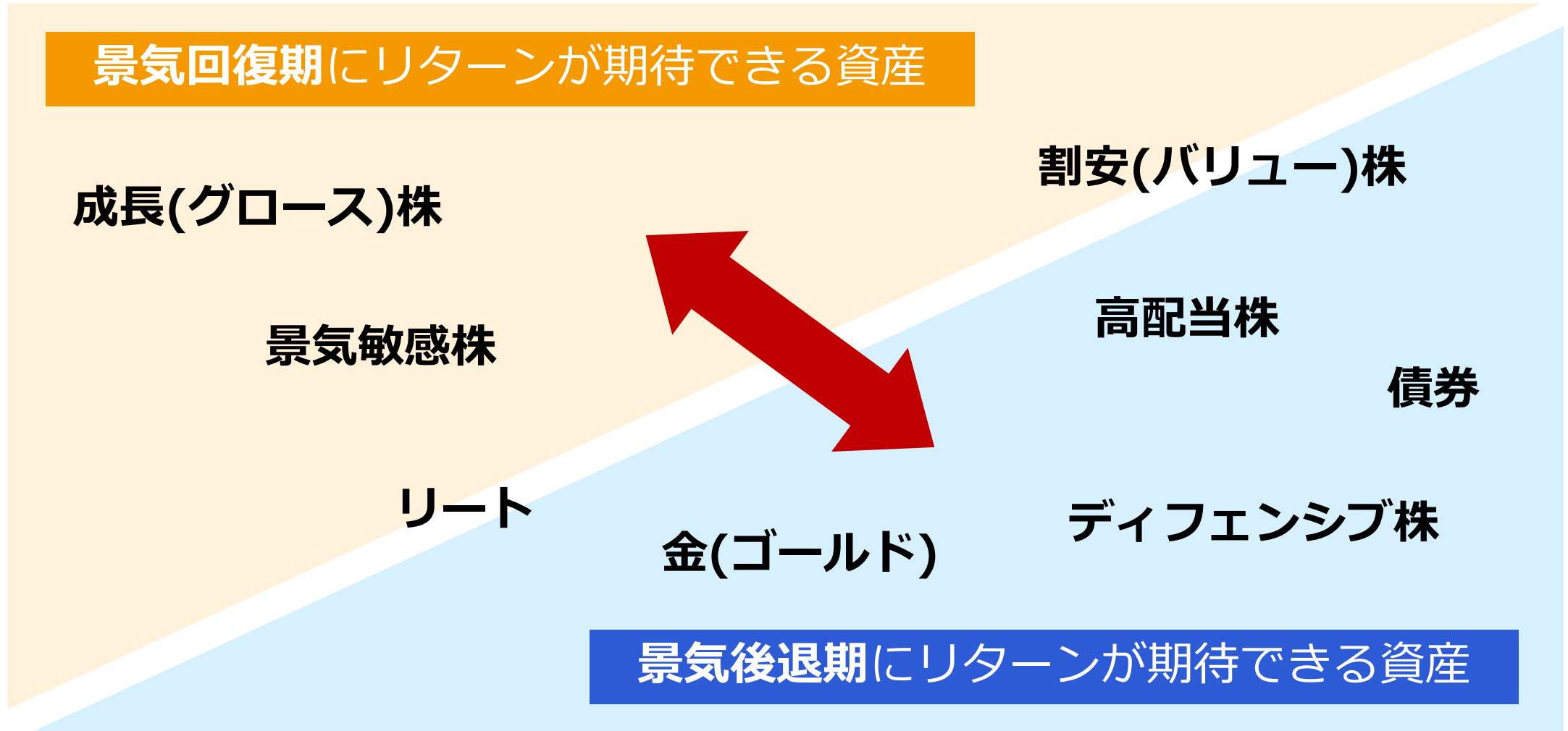
資産分散

値動きの異なる複数の資産に資金を分散させること



似た値動きをする資産を複数保有しても、資産分散の効果は十分に得られない

資産分散の考え方：異なる性質の資産を保有する



ETFを活用した米国株投資

代表的な米国株式指数とETF

CRSP USトータル・マーケット指数

米国株式市場の大型株から小型株までを網羅し、投資可能銘柄のほぼ100%をカバーした時価総額加重平均型の株価指数。

バンガード・トータル・ストック・マーケットETF (VTI)

買付
手数料
無料

S&P500指数

米国企業のうち流動性がある大型株500銘柄の時価総額を利用して算出。時価総額の大きい銘柄（大型株）の影響を受けやすい。

**バンガード・S&P 500 ETF (VOO)
SPDR S&P 500 ETF (SPY)**

買付
手数料
無料

NYダウ30種平均

S&P DJによって選定された米国経済を代表する30銘柄の株価を平均して算出。株価の高い銘柄（値がさ株）の影響を受けやすい。

SPDR ダウ工業株平均 ETF (DIA)

ナスダック100指数

ナスダック市場に上場する銘柄のうち、金融以外のセクターで流動性が高く、時価総額の大きい上位100銘柄で構成される株価指数。

インベスコQQQ 信託シリーズ1 (QQQ)

買付
手数料
無料

「バイプレイヤー」型の銘柄もチェック

高配当・増配株、バリュー株

- SPDRポートフォリオS&P 500高配当株式ETF (SPYD)
- SPDR S&P 米国高配当株式 ETF (SDY)
- バンガード・米国増配株式ETF (VIG)
- バンガード・米国バリューETF (VTV)



中小型株

- iシェアーズ S&P 中型株 ETF (IJH)
- iシェアーズ S&P 小型株 ETF (IJR)
- バンガード・米国ミッドキャップ・バリューETF (VOE)
- iシェアーズ ラッセル 2000 ETF (IWM)

機動的にセクター（業種）別ETFを使い分ける

- **一般消費財**セレクト・セクター SPDR ファンド (XLY)
- **生活必需品**セレクト・セクター SPDR ファンド (XLP)
- **エネルギー**・セレクト・セクター SPDR ファンド (XLE)
- **金融**セレクト・セクター SPDR ファンド (XLF)
- **ヘルスケア**・セレクト・セクター SPDR ファンド (XLV)
- **資本財**セレクト・セクター SPDR ファンド (XLI)
- **素材**セレクト・セクター SPDR ファンド (XLB)
- **テクノロジー**・セレクト・セクター SPDR ファンド (XLK)
- **公益事業**セレクト・セクター SPDR ファンド (XLU)
- **不動産**セレクト・セクターSPDRファンド (XLRE)
- **コミュニケーション・サービス**・セレクト・セクターSPDRファンド (XLC)

その組み合わせ、分散効果は？

- S&P500と**先進国株式**
- S&P500と**ナスダック100**
- **ナスダック100**と**全世界株式**

- **先進国株式**と**新興国株式**
- **全世界株式**と**アップル株**

- S&P500と**金(ゴールド)**
- S&P500と**高配当・バリュー株**



低い



やや低い



高い

本日のまとめとポイント

- 1 ETFの原理原則は、**効果的な分散投資**
- 2 コア資産は基本的に**王道銘柄**で構わない
- 3 「**バイプレイヤー**」**型**銘柄の活用法にも注目
- 4 銘柄選びで迷ったら、**出来高**と**経費率**を参照する
- 5 レバレッジ型が有効に機能するのは、**マーケットの方向性が読める**場合

ご注意事項

本資料は、勉強会の為に作成されたものであり、有価証券の取引、その他の取引の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。本資料及び資料にある情報をいかなる目的で使用される場合におきましても、お客様の判断と責任において使用されるものであり、本資料及び資料にある情報の使用による結果について、当社は何らの責任を負うものではありません。

本資料で記載しております価格、数値、金利等は概算値または予測値であり、諸情勢により変化し、実際とは異なる場合がございます。また、本資料は将来の結果をお約束するものではなく、お取引をなさる際に実際に用いられる価格または数値を表すものでもございませんので、予めご了承くださいようお願いいたします。

投資にかかる手数料等およびリスク

【投資信託の取引にかかるリスク】

- 主な投資対象が国内株式

組み入れた株式の値動きにより基準価額が上下しますので、これにより投資元本を割り込むおそれがあります。

- 主な投資対象が円建て公社債

金利の変動等による組み入れ債券の値動きにより基準価額が上下しますので、これにより投資元本を割り込むおそれがあります。

- 主な投資対象が株式・一般債にわたっており、かつ、円建て・外貨建ての両方にわたっているもの

組み入れた株式や債券の値動き、為替相場の変動等の影響により基準価額が上下しますので、これにより投資元本を割り込むおそれがあります。

【投資信託の取引にかかる費用】

各商品は、銘柄ごとに設定された買付又は換金手数料（最大税込4.40%）およびファンドの管理費用（含む信託報酬）等の諸経費をご負担いただく場合があります。また、一部の投資信託には、原則として換金できない期間（クローズド期間）が設けられている場合があります。

- お買付時にお客様に直接ご負担いただく主な費用

「買付手数料」：ファンドによって異なります。

- 保有期間中に間接的にご負担いただく主な費用

「ファンドの管理費用（含む信託報酬）」：ファンドによって異なります。

- ご換金時にお客様に直接ご負担いただく主な費用

「信託財産留保額」「換金手数料」：ファンドによって異なります。

買付・換金手数料、ファンドの管理費用（含む信託報酬）、信託財産留保額以外にお客様にご負担いただく「その他の費用・手数料等」には、信託財産にかかる監査報酬、信託財産にかかる租税、信託事務の処理に関する諸費用、組入有価証券の売買委託手数料、外貨建資産の保管等に要する費用、受託会社の立替えた立替金の利息等がありますが、詳細につきましては「目論見書」で必ずご確認くださいませうお願いいたします。

投資にかかる手数料等およびリスク

また、「その他の費用・手数料等」については、資産規模や運用状況によって変動したり、保有期間によって異なったりしますので、事前に料率や上限額を表示することはできません。各商品のお取引にあたっては、当該商品の目論見書、契約締結前交付書面等をよくお読みになり、内容について十分にご理解いただくよう、お願いいたします。

【投資信託に関する情報提供について】

- ・楽天証券株式会社がウェブページ上で掲載している投資信託関連ページは、お取引の参考となる情報の提供を目的として作成したものであり、投資勧誘や特定銘柄への投資を推奨するものではありません。
- ・各投資信託関連ページに掲載している投資信託は、お客様の投資目的、リスク許容度に必ずしも合致するものではありません。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。
- ・各投資信託関連ページで提供している個別投資信託の運用実績その他の情報は、当該投資信託の今後の運用成果を予想または示唆するものではなく、また、将来の運用成果をお約束するものでもありません。

（楽天証券分類およびファンドスコアについて）

- ・楽天証券ファンドスコアは、「運用実績」を一定の算出基準に基づき定量的に計算したもので今後の運用成果を予想または示唆するものではなく、将来の運用成果をお約束するものでもありません。最終的な投資判断は、運用コスト、残高の規模、資金流出入額、運用プロセス、運用体制等を考慮し、お客様ご自身でなさるようお願いいたします。
- ・情報提供：株式会社QUICK

各投資信託関連ページに掲載している情報（以下「本情報」という）に関する知的財産権は、楽天証券株式会社、株式会社QUICKまたは同社の情報提供元（以上三社を合わせて「情報提供元」という）に帰属します。本情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではなく、これらの情報によって生じた損害について、情報提供元は原因の如何を問わず一切の責任を負いません。本情報の内容については、蓄積・編集加工・二次加工を禁じます。また、予告なしに変更を行うことがあります。

商号等：楽天証券株式会社／金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第195号、商品先物取引業者

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、日本商品先物取引協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会 確定拠出年金運営機関 登録番号774

Rakuten 楽天証券